

第 120 回 周防大島町農業委員会総会

- 1 開催日時 令和 7 年 10 月 15 日（水）午前 9 時 30 分から午前 9 時 55 分
- 2 開催場所 久賀公民館 2 階 大会議室

3 出席農業委員 （10 人）

- | | | |
|------|----|----------|
| 1 番 | 宮本 | 平 |
| 2 番 | 岡崎 | 裕一 |
| 4 番 | 沖村 | 和哉 |
| 5 番 | 角井 | 雅之 |
| 9 番 | 岡村 | 淳史 |
| 10 番 | 藤元 | 敬介 |
| 11 番 | 東谷 | 邦夫（途中出席） |
| 12 番 | 沖 | 貴美枝 |
| 13 番 | 田中 | 豊文 |
| 14 番 | 廣岡 | 隆義（会長） |

4 欠席農業委員 （4 人）

- | | | |
|-----|----|----|
| 3 番 | 大谷 | 正樹 |
| 6 番 | 小柳 | 貴史 |
| 7 番 | 袴田 | 光夫 |
| 8 番 | 大内 | 清香 |

5 出席農地利用最適化推進委員 （3 人）

6 議事日程

第1 議事録署名委員の指名

議案 第1号 農地法第3条の規定による許可申請について

審査会1 農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用
集積等促進計画について

報告事項1 農地現況証明願による現況証明について

7 農業委員会事務局職員

事務局長 大久保弘史

書記 小田 康雄

書記 泉口 洸平

議長	<p>それでは定刻になりましたので総会を始めたいと思います。今回 120 回周防大島町農業委員会総会になります。本日の附議案件は、議案 4 件、審査会 1 件、報告事項 3 件となっております。慎重審議のうえで決定をいただきますようお願いを申し上げます。それでは本日の出席者についてご報告をいたします。在任する農業委員総数は 14 名、本日の出席委員は 9 名、欠席委員 5 名、農地利用最適化推進委員につきましては 3 名の出席をいただいております。よって、農業委員は過半数の出席でございますので、周防大島町農業委員会会議規則第 8 条の規定により、総会は成立をしております。次に、議事録の署名人を指名をいたします。本日の議事録署名人は、農業委員 1 番宮本委員と 2 番岡崎委員によりしくをお願いをいたします。それでは、議事に入ります。日程 1、議案第 1 号、農地法第 3 条の規定による許可申請 No. 1 についてでございますけれども、この案件は私の担当議案でございますので、議事の進行を宮本職務代理に交代をいたします。</p>
職務代理	<p>それでは No. 1 について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。議案第 1 号、農地法第 3 条の規定による許可申請、No. 1 についてご説明させていただきます。申請人申請地等は議案書に記載の通りです。それでは農地法第 3 条第 2 項各号の事項についてご説明いたします。議案説明資料は、1 ページから 4 ページをご覧ください。本事案については、農業後継者がいないことなどにより規模縮小を考えていた譲渡人の要望に対し、譲受人が応えるものであります。まず、第 1 号の全部効率利用要件については、営農計画書の農機具の保有状況や、労力の確保方法、作目及び利用計画からみて、権利取得後も農地を効率的に利用すると考えます。次に第 2 号の農地所有適格法人以外の法人が権利を取得する規定については、今回は個人ですので該当しません。次に第 3 号の信託の引受けによる権利取得についても該当しません。次に第 4 号の農作業常時従事要件ですが、本人の従事日数から見て、耕作に必要な日数について従事すると判断されます。次に第 5 号の転貸禁止要件についても該当しません。次に第 6 号の地域調和要件ですが、引き続き柑橘を栽培する計画であるため、周辺農地の効率的かつ、総合的な農業利用に支障は生じないと考えます。以上のことから農地法第 3 条第 2 項各号には該当せず、許可要件は満たしていると考えます。説明は以上です。</p>
職務代理	<p>引き続きまして、地区担当の農業委員 14 番廣岡委員、推進委員 15 番中尾委員からその後の補足説明がありましたらお願いします。</p>
14 番	<p>先日の 9 日に中尾委員と二人で●●さんの同席のもとで現地の確認をさせていただきました。現地については面積の中でみかん、日向夏が一応二本だけ植わっているという状況です。あとは草地。平地の場所でしたし草地といっても背の低い草がまあ生えちよるだけであまり問題はない状況かと思ってお</p>

ります。●●さんのご主人がご健在だった時に今お亡くなりになられてるみたいですが、でもご健在の時は農協に出荷をしてたということでしたけれども一応今回農地を取得して共販体制で販売をするということは考えてないということでした。譲受人ないしは譲渡人そのあたりを含めた近隣の方々と食べ料として作るだけのミカン、柑橘類を植えたい例示でされたのは甘夏ということでしたけれどもいずれにしてもそのあたりを植えて近隣の方で食べたいというようなことで農地を取得される見込みのようでした。農家の雇い入れ等々は中尾委員の方が詳しいですからまあちょっとこれは補足していただければと思っておりますけれども特に問題はない許可だと思っております。以上です。

職務代理 中尾委員をお願いします。

15 番 (推進委員) 今回調査した園地につきまして特に地主の貸し手の方がよく草の管理もされておりまして特に草の方もきれいにされているっていう状況でございます。それで今は日向夏だけでございますがこのあと甘夏等の中晩柑を植える予定にしております。家も近くでございますし息子さんの夫婦が●●に住んでおられるということで今後その手伝いの方もしてくれるっていうような状況でありまして特に農地の管理等につきましては特に問題ないんじゃないかというように思っています。以上です。

職務代理 ただいまの事務局及び担当委員の説明で、ご質問などはございませんか。ご質問なども無いようですので採決をいたします。本件を許可することに賛成の農業委員の方は、挙手をお願いします。

(挙手全員)

挙手全員であります。よって、本件を許可することに決定いたします。それでは議事の進行を廣岡会長に戻します。

議長 続いて、No.2 について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 はい。議案第1号、農地法第3条の規定による許可申請、No.2 についてご説明させていただきます。申請人申請地等は議案書に記載の通りです。それでは農地法第3条第2項各号の事項についてご説明いたします。議案説明資料は、4ページから8ページをご覧ください。本事案については、高齢で農業後継者もいないため、申請地を譲り渡したい譲渡人の要望に対し、移住に当たり申請地もあわせて譲り受けたい譲受人が応えるものであります。まず、第1号の全部効率利用要件については、営農計画書の農機具の今後の確保予定、労力の確保方法、作目及び利用計画からみて、権利取得後も農地を効率

的に利用すると考えます。次に第2号の農地所有適格法人以外の法人が権利を取得する規定については、今回は個人ですので該当しません。次に第3号の信託の引受けによる権利取得についても該当しません。次に第4号の農作業常時従事要件ですが、本人の従事日数から見て、耕作に必要な日数について従事すると判断されます。次に第5号の転貸禁止要件についても該当しません。次に第6号の地域調和要件ですが、季節野菜を栽培する計画であるため、周辺農地の効率的かつ、総合的な農業利用に支障は生じないと考えます。以上のことから農地法第3条第2項各号には該当せず、許可要件は満たしていると考えます。説明は以上です。

議長 この案件一応担当委員の大内委員、農地利用最適化推進委員の中川委員がそれぞれ担当ではございますけれどもちょっと都合により今日欠席をしております。事情はだいたい事務局が聞いておりますので委員の説明の部分は事務局が対応させていただければと思っております。事務局お願いいたします。

事務局 はい。大内委員より現地確認に伺い、譲受人ともお話をさせていただきました。申請地は家の前にあり、すでに草刈り等管理を始められている。10月に大島に移住してこれですでに仕事も決められており、親戚が農業をされており草刈機と耕運機を譲り受けることとなっていると。たまたま現地確認時に自治会長も来られ、譲受人と一緒にお話をいただいたんですが、すでに地元の祭りに参加されるなど地域にもなじんでいる。問題はないと思います。とのご報告を受けています。以上です。

議長 ただいまの事務局の説明で、ご質問などがありましたらお願いをいたします。よろしいですかね。ご質問も無いようですので採決をいたします。本件を許可することに賛成の農業委員の方は、挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

挙手全員でございます。よって、本件を許可することに決定をいたします。続いて、No.3について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 はい。議案第1号、農地法第3条の規定による許可申請、No.3についてご説明させていただきます。申請人申請地等は議案書に記載の通りです。それでは農地法第3条第2項各号の事項についてご説明いたします。議案説明資料は、8ページから11ページをご覧ください。本事案については、継続して耕作が困難な申請地を無償で譲り渡したい譲渡人の要望に対し、譲受人が応えるものであります。まず、第1号の全部効率利用要件については、営農計画書の農機具の保有状況、労力の確保方法、作目及び利用計画からみて、権利取得後も農地を効率的に利用すると考えます。次に第2号の農地所有適格法

人以外の法人が権利を取得する規定については、今回は個人ですので該当しません。次に第3号の信託の引受けによる権利取得についても該当しません。次に第4号の農作業常時従事要件ですが、本人の従事日数から見て、耕作に必要な日数について従事すると判断されます。次に第5号の転貸禁止要件についても該当しません。次に第6号の地域調和要件ですが、大蒜を栽培する計画であるため、周辺農地の効率的かつ、総合的な農業利用に支障は生じないと考えます。以上のことから農地法第3条第2項各号には該当せず、許可要件は満たしていると考えます。説明は以上です。

議長 引き続きまして、地区担当の農業委員 11 番東谷委員、推進委員 12 番國次委員からその後の補足説明などがありましたらお願いいたします。

11 番 10 月 10 日の日に國次推進委員と現地を確認しております。当地は長年耕作放棄地ということであと農業をやってくれる人とかそこを継いでくれる人を長年探しておりましたけどなかなか見つからずに今回たまたま知人を介して●●さんという方を紹介されて話し合っているとときにまじめな姿を確認しながら●●さんに譲渡したいという譲渡人の話でありました。現調をしているときにはもうすでに機械も入れて畑を耕しておりまして当日は6, 7人のお手伝いさんを入れて、その畑で大蒜の栽培をやっておりました。●●さんは非常にまじめな方だという譲渡人もそのような確認をしたうえで譲り渡したいという希望がありました。替わります。

議長 それでは國次委員。

12 番
(推進委員) 私の方からは別にありません。

議長 ただいまの事務局並びに担当委員の説明で、ご質問などがありましたらお願いいたします。よろしいですかね。ご質問も無いようですので採決をいたします。本件を許可することに賛成の農業委員の方は、挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

挙手全員でございます。よって、本件を許可することに決定をいたします。続いて、No.4 について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 はい。議案第1号、農地法第3条の規定による許可申請、No.4 についてご説明させていただきます。申請人申請地等は議案書に記載の通りです。それで

は農地法第3条第2項各号の事項についてご説明いたします。議案説明資料は、12 ページから 15 ページをご覧ください。本事案については、譲渡人が所有する宅地及び家屋を譲り受けるにあたり申請地もあわせて譲り受けたい譲受人の要望に対し、譲渡人が応えるものであります。まず、第1号の全部効率利用要件については、営農計画書の農機具の今後の確保予定、労力の確保方法、作目及び利用計画からみて、権利取得後も農地を効率的に利用すると考えます。次に第2号の農地所有適格法人以外の法人が権利を取得する規定については、今回は個人ですので該当しません。次に第3号の信託の引受けによる権利取得についても該当しません。次に第4号の農作業常時従事要件ですが、本人の従事日数から見て、耕作に必要な日数について従事すると判断されます。次に第5号の転貸禁止要件についても該当しません。次に第6号の地域調和要件ですが、季節野菜を栽培する計画であるため、周辺農地の効率的かつ、総合的な農業利用に支障は生じないと考えます。以上のことから農地法第3条第2項各号には該当せず、許可要件は満たしていると考えます。説明は以上です。

議長 引き続きまして、地区担当の農業委員 10 番藤元委員、推進委員 9 番藤岡委員からその後の補足説明などがありましたらお願いをいたします。

10 番 先日藤岡委員と現地を確認してまいりました。残念ながら譲受人とはちょっと連絡が取れなかったんですが、現地の方は建物の真横にあってちょうど家庭菜園を作るのにはいい大きさだなというような大きさです。現状まだ草は生えてツタの絡まってる木があったりとかちょっと農地を作るのにちょっとだけ手間はかかるんじゃないかなとは思っているのですが、建物への隣接なので頻繁に耕作等できるんじゃないかと思っています。以上です。

議長 続きまして藤岡委員。

9 番 (推進委員) この住宅はですね、約 30 年間空き家ということで譲渡人はですね、年 4、5 回くらいは草刈りをしておったというふうに近隣の方からおうかがいしております。隣接した農地ですので先ほど藤元委員さんが言われましたように家庭菜園程度ではあると思いますが、現在ちょっと草は生えていますけれども、農地とするということで別に問題はないというふうに思っております。

議長 ただいまの事務局並びに担当委員の説明で、ご質問などがありましたらお願いいたします。よろしいですかね。ご質問も無いようですので採決をいたします。本件を許可することに賛成の農業委員の方は、挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

挙手全員でございます。よって、本件を許可することに決定をいたします。続いて日程2、審査会1に移ります。農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画についてですが、本件は角井委員に関する案件でございますので、農業委員会等に関する法律第31条の規定に基づき、議事に参与することができません。角井委員については、一旦退室をお願いいたします。

(角井委員退室)

それでは事務局より説明をお願いいたします。

事務局

はい、農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画についてご説明いたします。事前にお配りしております、農用地利用集積等促進計画（素案）の概要をご覧ください。本件は、農地中間管理事業の推進に関する法律による手続きを活用した農地売買等事業です。土地改良事業における担い手への農地集積を目的としており、県営日良居地区水利施設等保全高度化事業における、基盤整備対象地内における農地の売買でございます。利用権の設定と同じように、農地中間管理機構である、やまぐち農林振興公社を経由する方法で、農地の出し手から公社が一時的に買い入れ、登記終了後、公社から受け手に売り渡すものでございます。このたび農用地利用集積等促進計画の策定にあたり、本日お諮りする次第でございます。1件1筆で面積が1,443㎡の申出となっております。ご審議の程よろしくお願いいたします。説明は以上です。

議長

本件について、ご質問がありましたらお願いいたします。

(質問、意見なし)

よろしいですね。ご質問、ご意見もないようでございますので、採決をいたします。本件に異議のない方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

挙手全員でございます。よって承認することといたします。角井委員は入室をお願いいたします。

(角井委員入室)

続いて、日程 3、報告事項 1、農地現況証明願による現況証明について、事務局より報告をお願いいたします。

事務局 はい、報告事項 1、農地現況証明願による現況証明についてご報告いたします。西屋代、戸田、久賀にて 3 件の現況確認を行い、非農地の判断をいたしました。理由は備考欄のとおりとなります。各農業委員さんにご確認いただきましたのでご報告いたします。資料は 15 ページから 22 ページをご覧ください。報告は以上です。

議長 ただいまの事務局の報告に、ご質問がありましたらお願いいたします。よろしいですかね。特にご質問も無いようでしたらこの事項報告事項でございますので皆様のご了承をお願いいたします。以上をもちまして第 120 回周防大島町農業委員会総会を閉会をいたします。長時間の審議、ご苦勞様でございました。

上記は、令和 7 年 10 月 15 日開催の第 120 回周防大島町農業委員会総会の議事録である。

令和 7 年 11 月 日

周防大島町農業委員会会長_____

上記の議事録は、正当と認め署名いたします。

議事録署名人

周防大島町農業委員_____

周防大島町農業委員_____